

第2回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

アンケート記述（全て）

1. 「第1部 マザーレイク21計画の評価会議」について

- ・ 少し時間が足りない感じがあった。
- ・ 「旗揚げ」のように、会場参加者も適宜、容易意思表示できるパートもあればよかったのでは？
- ・ 琵琶湖の現状の説明は判りやすく満足した。
- ・ 松沢さんのお話は大変興味深いものであった。アウトカムについてより議論を深めるには、学識者や行政人というよりは、NPOや漁師さん、企業、市民などの現場により精通された方の話を取り入れてよいのではないかと思う。
- ・ 事前の協議を行ってもっとスムーズにすすめてほしかった。
- ・ 未来展望を前にして、議論や評価が行われるべき位置づけであると思いますが、流れ、スキームが明確でなかった。議長の井手先生は上手く進められていたと思います。
- ・ 初めて参加しましたが、皆様びわ湖をととても大切にしておられて素晴らしかったです。
- ・ 指標に疑問。漁業関係者は現場の専門家として位置づけしないと観念的な議論になる。
- ・ ML21計画2期計画の見直しで湖内、湖辺、集水域での課題目標があげられているが、それぞれの課題を参加者に説明し、共有する内容、時間ではなかった。湖内、湖辺、集水域に関する事業相当部局からの説明があるべきでは？
- ・ 指標についてもさらなる確度の向上への取り組みが必要だと思う。特に水質については5m、10mの深さについても調査が必要と思われる。
- ・ ピントがずれた議論だったのでは。
- ・ 具体的問題は空すべりの様に思えた今少し、つっこんだ話を聞きたかった。
- ・ この内容が評価会議？と思いました。もっと多くの県民が参加できるようにする必要がある。
- ・ 時間の関係上か、話の途中で座長がストップをかける場面が時々あり、十部な話が聞けなかった＝時間が足りなかった感。
- ・ 前畑さんのコメントが明確で面白かった。大切に扱って更なる議論に面白く持って行って欲しかった。
- ・ 自由な討論とするためだとは思いますが、せめてどのように話を進めるかどうかくらいは事前にパネリストに周知しておくべき。（前畑さんの話は聞きづらかった）
- ・ 参加していません。
- ・ 治水意識と環境意識が同等になるように努力する必要がある。いろんな場所からの参加者があったのは良かった。
- ・ 評価の指標としてDO（溶存酸素量）を特に湖底で調べたらどうか？南郷洗関で水位調整しているが、主に表層水を流しており、湖底にヘドロやゴミが滞積して低酸素化していないか心配。
- ・ 漁業者の意見、実情がわかった。行政の指標は消化不良。
- ・ 様々な立場の人達の意見が聞けて非常に勉強になった。
- ・ それぞれの立場の意見があり、琵琶湖をとりかこむ”今”をかいまみられた。
- ・ マザーレイク21計画の各種指標の根拠を示せ！アウトカムへの目標値とアウトプットの関係が理解

出来た。パネルディスカッションでは湖内及び湖辺域であり不十分であった。また根拠も不十分さを感じた。

- ・ 私の活動とは又違っていました。魚の事でしたがやはり大きな琵琶湖でつながっていました。
- ・ 参加者からの意見も少しあってもよかったのでは？
- ・ 時間が短い。
- ・ 県民としてとるべきアクションが分からなかった。
- ・ もっと聞きたかった。
- ・ 松沢さんの話はよかった。水質データでは見えないポイント的な魚調査では分からない現実が分かった。琵琶湖もまだまだ問題が多い。
- ・ びわ湖の厳しい現実を直視する必要がある。評価は甘い。県民がびわ湖とふれ合うようになったことは進歩であるが、まだまだ体験が少ない。
- ・ 目標値の決め方（経緯）など聞いてよかったが、時間が足りなかったのは残念です。
- ・ 漁師、研究者の視点での意見等が聞いて良かった。参考になった。
- ・ いろいろな立場の方から話が聞いておもしろかった。しかし、もう少し、内容がかみ合えばよかったと思う。（松沢さんの観察と研究者との考え方がつながるといいと思う。調査結果）
- ・ 指標項目、評価数値をどう設定したのか、説明があり良かった。フナが最近、湖岸に産卵に来ないというのはなぜなのでしょうね。最後の評価が個人的な感覚がかなり反映されているがおもしろいと思いました。豊かな体験、環境を実際に知っていることが大事だと思いました。
- ・ 出席せず。
- ・ テーマが広すぎる。絞り込むと良かったのではないかな。
- ・ びわ湖の現状の問題点が分からない。例えば漁獲量指標にしても量を増やす目標だが、少なくする目標も有り得ると思うが基準が分からない。
- ・ 時間が短かったように思います。パネリストがたくさんいたのでいっぱい話を聞きたかったです。
- ・ 立場の違うパネリストのお話を聞くことが出来、琵琶湖に対する視点が増えました。
- ・ 様々な立場の方の考えを聞くことができた。話がかみ合わない状況になったときに、どう議論を深めていくのか、あれだけの人数がいるとなかなかうまくいかないですね。
- ・ 井手先生がうまくまとめて下さったと思います。
- ・ パネリスト間で一部、論点がかみあっていなかった。
- ・ マザーレイク 21 計画の評価は、第一部の議論でできていたかは疑問だが、各パネリストのコメントは興味深かった。
- ・ もう少し時間をとって、せっかくの問題提起の腰を折ることはもったいない。
- ・ 中主漁協の松沢さんのお話は良かった。一般の人、県民からの生のお話だと思った。今後のフォーラムなどでも、一般の方でがんばっておられる人のお話、意見をふまえた議論ができれば良いと思った。大学の先生はダメ。大学の先生を呼ぶなら年配の先生を呼ぶのではなく、若手でがんばっている先生を呼ぶべき。年配の先生は、先生になるときもライバルが少なく楽をしている人が多い。
- ・ 漁師さんの話が現実的で一番分かりやすい指標だった。漁獲のほとんどが放流された魚とは知らなかった。驚いた。（第一部のみの参加です）
- ・ 予め、パネリストでの事前の意思疎通を図っておくべきではないか（短時間であるため）
- ・ 琵琶湖の魚等を増やすための県の取組みが分かった。

- ・ びわ湖浄化に関する皆さんの意見願望が分った。

2. 「第2部 ワークショップ」について

(1) 班毎に分かれての討議

1) アユ班

- ・ 高齢者であってもディスカッションのルールは厳守すべき（ルールを熟知してもらう必要がある）。討論の進め方はよかった。
- ・ 「ワークショップ」というより、パネリストの方のお話を聞くだけの「パネルディスカッション」であった。「ワークショップ」ならば、もっと参加者みんなで取り組む内容であるべき。
- ・ パネリストの皆さんのお話はためになったが、やや時間をとりすぎたのでは？短めに導入してもらって、後は会場との意見交換会に移っては？とはいえ、非常に勉強になる意見もあった。
- ・ 司会者とパネリストの話が多く、参加者の意見を披露（発表）してもらう時間があまりなかった。分科会は参加者の意見をだしていただく運営が望まれる。
- ・ 何とも言えないが楽しかったと思う。もっと参加者との話がしたいです。
- ・ 手法や技術、制度に着目した内容、意見整理が中心になってしまったと思います。もっと、大極的な視点での意見交換が必要だと思います。魚が川を上ることの意義と価値、その普及についての話し合いが欲しかったです。
- ・ テクニカルな意見に対するバッシングがありましたが、皆様それぞれ熱い思いが伝わりとても良かったです。
- ・ 全く議論できなかった。議論なし。河川工法の話に終始し「上流と琵琶湖をつなぐ」課題と方向づけに結びつく展開は全く意図になかったように思える。参加者の多くからも不満が多く、ロビーでもその件で話題集中。パネリストの発表の場に終わった。琵琶湖に流れ込む川の水や上流の森づくりのつながりには一切触れない形で進行された。パネリスト以外が議論できるように。
- ・ 計画見直しまでの評価、話題に向けてという観点から当日みせてもらった班分けとパネラーを見て参加する場所を選ぶのに苦労した。メダカ班では山の施策担当が入っておらず教育系ばかりの話にかたよりそうだったのでアユ班に参加した。川の上流～びわ湖のつながりの中で山、川、湖の話にと思ったが、魚道の話のみの話となった。川の上流からびわ湖のつながりの意識、認識、課題の議論、問題のなげかけという進行ではなくて大変残念。
- ・ 分科会において話題（論点）以外の話が出され、まとめの時間がなかったから。（アユ班、傍聴席からの発言）
- ・ 市民活動と行政が川づくり（特に環境とのかかわりの中で）にもっと力と智恵を使って協力できる場所があると思った。特に「瀬枯れ」のケアに地域の住民がかかわることで魚を救える工夫ができると思った。
- ・ 方向を見つけ出すワークショップなのに、、、。パネリストの過去の「じまん話」ばかり、、、。ファシリテーターの作戦か？一方的な話で終わった。時間もったいない。
- ・ ファシリテーターはパネリストばかりで参加者の意見が聞く事が出来なかったのが不満である。
- ・ 途中発言を求めて怒声をあげた方がいたのが残念です。進行の方、ご苦労様です。

2) フナ班

- ・ 一般人が発言できる機会が少なかった。(時間)
- ・ 活発な意見交換ができた。
- ・ 参加者の意見というよりもパネリストの意見中心でした。でも、パネリストに熱があって若手が興味深かった。
- ・ パネリストの人を中心ではなく全員での円卓会議的なものの方がみなさん、満足かなと思いました。一般の人でも長く話しすぎる傾向があるので、時間を切って話したい人は話した方がよい。特に解決法の議論が不十分だったと思う。
- ・ ゆりかご水田を増やしていけない障壁がわかった。
- ・ いろんな分野からの意見を聞く必要があると思う。
- ・ 広く参加された皆様の意見を聞いてほしかった。圃場整備は田んぼへの水の供給を中心に考えられており、農業生産には良いかも知れないが、水路は排水路になっている。昔の水路は暮らしの中で利、活用されていた様に思う。水路に親しみ、生ものとふれ合う場にしていきたい。
- ・ ニゴロ鮎の再生産に向けいろいろな人の関わり、又、実施内容を確認できた。
- ・ 話題の概要はわかったが、中味について消化不良。
- ・ 立場をこえた理解の上に有効な提案が出されよかった。
- ・ ゆりかご水田米の農家が増えない課題について討論したが、滋賀県として、びわ湖の魚に有益な取り組みだという事を大きく宣伝すべきである。味の問題ではなく、環境にやさしいことを教育、宣伝をしなければ売れないと思う
- ・ 「ゆりかご水田」このままでは息切れするのではないか！やはり附加価値の評価がよくみえない。近所特定大農家「有機無農薬米」として約5万円/60kgで、相当量販売されている。一応しっかり研究されてはどうか。
- ・ 若い漁師さんのお話や各自の想いや体験がきけてよかった。
- ・ いい議論ができたと思う。
- ・ 討議は満足したが、フナを目線で環境を考えるべきところを「フナ」に執着し過ぎた事、県民にとってどういうものかということが欠けていたことが残念であった。
- ・ 色んな角度から意見が出て、解決にむけての検討が良かった。
- ・ 時間が足りなかった。
- ・ 中村さんの漁師としての現場の現況は興味深かった。
- ・ ゆりかご水田の有意性がよく理解出来た。

3) メダカ班

- ・ 若干、議論を深めたらいい部分があったが、今後の自分達の活動を考える上でも大変有意義な議論、意見が出ていたと思います。
- ・ どの様な活動にも、継続して取り組む人(人財)を確保することの難しさがあるが、その中で試行錯誤されていることがあり、参考となった。
- ・ 前半は今一つであったが、会場からの意見が取り上げられてから少しましになった。
- ・ きっかけは場作りの大切さ。いろんな立場の人々が多く関わっていくことで支える。ライフステージに合わせて何回もの場が必要。参加者がそれぞれの活動で具体化していくことが大切だと思います。

た。

- ・ 興味深い意見多、議論を深めるには時間不足。
- ・ 議論はおもしろかったです。いろいろ意見があり発見がありました。進行がもう少しスムーズ、議論を深めることに時間がとれるとよかったです。1 グループの人数が少し多いのかな？
- ・ 参加している方の範囲でのつながりを議論したが広く一般市民を対象を広げた方策の議論もあっても良かったのでは？
- ・ 立場が様々すぎと具体的な話はしにくかったように感じます。
- ・ 話をまとめていくのに、時間が足りないですね。教育は次の行動が大事だと思うので、課題を出して、次を、考え、チーム作りをするべきだと思いますし、そのあたりを議論する場もほしかったです。
- ・ とても、話が盛り上がり、いろんな立場の方々からいろんな意見が出た。
- ・ つながりを大切にキーワードをたくさん聞くことができましたが、具体的なアイデアへのつながりについてももう少し議論できたらと思います。
- ・ ポストイットで提出した。会場からの意見をもう少し織り交ぜながら議論できれば良かった。
- ・ それぞれ最な意見であったが、具体的な提案にとぼしかった。
- ・ 人材確保のアイデアが得られこと。学校、地域、企業でのライフステージの合わせたいろんな取組みの具体例が聞きたかった。

(2) 全体でのワークショップ

- ・ 前向きなおもしろい〇〇をいただいた！
- ・ 参加者もいろいろ経験豊富な方が多数おられるので出来るだけ発言の機会を皆さんがもつような運営（分科会でよい）をお願いしたい。
- ・ 良い話が聞けた。
- ・ 第1、第2で行われたプレゼンと意見交換。これをまとめることが上手くできていたと思います。また、知事と井手先生との会談がとても良かった。未来へとつなぐための話ができていると思います。
- ・ 来られている（参加されている）方の意識レベルが高くて自分も見習う点がたくさんありました。
- ・ びわ湖が良くなっているように感じないという現状を各ステークホルダー、参加者がどう感じ、どう動こうとしているか、どうつながって動くべきか議論していける場とすることが必要。参加者が保全整備計画と自分達の取組みのつながりを見る、考える場、参加者に持参してもらおうぐらいの積極性を求めても良いのでは？もうその段階にあげるべきでは？みんなで評価、提言を行う場ということならそこまで必要だし県庁各部局も参加すべきです。
- ・ この会議がこれからも続いていくことを感じられた。いい締めくくり方だったと思いました。
- ・ 知識の発表会から脱却を！
- ・ 近年の取組みを中心の議論が中心となっていたが、もっと魚の多くいた昭和 30 年代、40 年代にたいするメリット、デメリットにも着目した方がよかった。「ゆりかご水田米」が高い、売れない、等あったが、今回のポイントは米（米は農家がおいしい安全な米を精力的に作っている）よりもサカナにあったのでは、、、。
- ・ 別段議論に入ろうと思っていた訳ではありませんがアンケートでたずねられれば③になります。

- ・ 川本勇さんのナビゲーターはさすがプロだと思います。来年もお会いしたいですね。
- ・ ”下流府県”という言葉のインパクトがありました。
- ・ 行政だけでなく、なりわいが取り上げられるまとめがほしかった。
- ・ ①第2回フォーラムは第1回フォーラムに比べてテーマに対する問題点、課題、解決の方向性と方向性まで話され前進していた。②今日出された解決の方向性についてマザーレイク21の対応をして次回に回答してもらいたい。
- ・ 最後のメッセージ、本当に心が込められていて発表良かったです。
- ・ コメントはいいですね。
- ・ 若い漁師さんの中村さんのお話をじっくり聞きたい。
- ・ 多様な意見が活発に出たように思います（他の班も）。これを行政や各団体の活動、施策にどのように盛り込んで行くかが次に問われることであると思いますが、先ずは出発点として良かったのでは。
- ・ 全体での議論、きっかけ、〇〇の内容がよくわかった。
- ・ やはり、会場からの発言が会場を盛り上げた。
- ・ 話がおもしろかった。でもワークショップではないような気がします。
- ・ 前回の会議結果に基づく内容だったので良かったです。
- ・ 自分の課題意識を話すには、不足でしたが、テーマについての話は、うまく進行し、参加型のフォーラムとしていい時間だったと思います。
- ・ 学ぶ所も多く、非常に楽しかった。
- ・ いろいろなアイデアのきっかけが聞けてよかったです。
- ・ 上手く、とりまとめられていたと思う。
- ・ 山、里、川とのつながりというテーマだったがコミットメントは「琵琶湖を守る」だった。今回のテーマの総称はがよく分からなかった。
- ・ 各セッションの意見が分かった。

3. 全体を通じて参加いただいた感想、今後のびわコミ会議への要望等

- ・ 滋賀県民のびわ湖への想い、環境保全に対する意識が非常に高いことを実感した。先頭に立つ知事の環境意識が高い。
- ・ 今日、現在、県会議員さんの下でインターンシップをさせていただいており、その活動の一環として参加させていただきました。1日様々なお話を聞いて、とても勉強になりましたし、琵琶湖を私たちが守っていかなければならないと強く感じました。
- ・ ブースポスターもよい感じでした。ぜひ続けていただきたい！
- ・ 琵琶湖流域生態系の保全再生でニゴロブナ。ホンモロコ、アユなど貴重な魚の再生が主なテーマであり、特に異論はないのであるが「セタシジミ」の再生についても次回は取り上げて頂きたい。「セタシジミ」は琵琶湖の貴重な水産資源でありその復活も望むものである。
- ・ 年1回のみ開催が残念です。また、進捗状況の報告会のようなものがあるとよいと思います。会議で上がって来た課題を県民の公開し、アイデアを募集するのも良いかと思いますがいかがでしょうか。
- ・ 多くの方が違う意見をお持ちなので回数を重ねて頂きたいです。
- ・ マザーレイク計画に沿った運営になっているだろうか。健全な琵琶湖につながる川の上下流（森林

も含め)、水田、内湖、山、里、湖に対する課題が出ていたかどうか、疑問、「川の工法」や「ゆりかご水田米」、「環境学習」は重要ではあるが、あまりに部分的すぎる。

- ・ 評価会議とML21 計画 2 期改訂において見えてきた課題共有と今後課題に向けてつながりを意識した取組みのためにどのような視点、動きが必要かという意見交換、議論の場になっていない。本当に現状の問題をしっかりと共有していくつもりがあるのか。つながりを意識した計画、進め方になっているように感じない。松沢氏のお話も前回と一緒に。参加者の方から前回より悪いという声をきいたぐらいでとても残念。
- ・ はじめて参加しました。楽しく参加させて頂きました。
- ・ 分科会での「傍聴者参加」の仕組みが不十分と感じた。
- ・ この会議についてもアーカイブして、県民との共有を図ることが大切だと思います。次に、つなげていければ良いと思います。ありがとうございました。
- ・ ダム撤去が必要ではない。砂が山からびわ湖に流入しなくなったのが問題です。
- ・ 今回の結果を実践に反映するのが大事です。難しいと思いますが頑張りましょう。
- ・ フナ班でしたが「ゆりかご水田」とのかかわりに話題が仕向けられていた。もっと産卵の場所づくりにポイントを置き、河川のあり方、修復や内湖、内湖や川周辺の湿原を増やす（休耕田等の利用を含め）取組みが効果あると考える。
- ・ ML21 の進む方向。日本中のモデルになる取組みを目指しましょう。
- ・ 3 月の議論の結果が今日の分科会に生かされていて 3 月に参加した人間としては意味があったと満足した。これからも、1 回きりの内容でなく前回までの議論をうけた会議にしてほしい。
- ・ 知っている方がパネリストとして登壇されるということで参加してみました。(参加してみれば何てことはないし、新しい発見があるということもわかっている”環境系”のフォーラムに他分野から参画するのはこのように何かもう一押ししてくれる要素がないと一歩が踏み出せないです) 県民の声を広く聴く仕掛けとして今回グループに分かれてワークショップを取り入れられておりましたが事務局の方々の準備と度胸と覚悟に敬意を表します。
- ・ 魚がテーマであればもう少し水産関係者（行政、漁師、研究者）が出席して意見を述べるべきだった。
- ・ このような取組みは有意義であると思います。
- ・ 下水は整備されたが、水路や川、琵琶湖へ変わりに分解できない。ゴミが増えて、流れ、すてられている。南郷洗関では、表層水が主に流れており、琵琶湖の湖底にゴミがたまり、悪い影響があるのでは。景観的にも悪い。
- ・ 今後も、様々なテーマで市民、行政、研究者、企業が自由に意見交換しながら、琵琶湖に向き合っていきたいと思います。
- ・ 様々な立場の方の考えを伺え、大変勉強になりました。みなさんのびわ湖への想いに勇気を頂きました。
- ・ 第 1 回に比べ第 2 回と前進している。第 3 回は今日の課題と解決方向について継続してほしい。
- ・ ひょっとしたら”大きく変える”潜在力があると感じた。
- ・ (また改めて!)
- ・ びわ湖の関係者の視点だけでなく一般の市民の普通の視点が考えることがひつようではないか。
- ・ 環境という関係者でなく、水産、農業、土木など全ての人に係わる関係者が琵琶湖という 1 つの対

象をたとえばS30年以前の状況にするという目標を持って取り組む必要がある。

- ・ 漁協、漁業者の参加が少ない。県民の連携が少ない。
- ・ ブース展示の場をありがとうございました。もう少し早くからのお知らせをいただけたらと思います。大変お世話になり、ありがとうございました。
- ・ またよろしくをお願いします。
- ・ この大人数で話し合いをしつつ、共通理解をするというのは難しいと思いますが、よくできたプログラムだと思います。パネリストのジェンダーバランスが悪いように思いましたが、...
- ・ 大津ばかりでなく別の地域で開催してはどうでしょうか？→参加者が見知った内輪の人ばかり、取り上げるテーマも県内の地域によっては優先度が違う。→地域によってキーパーソンも変わるはず。評価は難しいですね。特に不特定多数の人と1時間で共有は無理と言えるかもしれないです。びわ湖会議は確認の場だと理解しているので、テーマを絞り込むのがいいのかもしれませんが。(テーマ→計画の「2050年頃のあるべき姿」にどれだけ近づいたか)
- ・ ワークショップで参加者混同で議論し、方向性を出すのも良いが、解決方向策として行政として、一般市民として企業として、大学、研究機関として、どうすべきかも方向性が出せたら良いかなと思います。最後に知事を交えて討論出来た事は良かったと思う。
- ・ 駐車場がたくさんあるor駅の近くの会場で開催してほしいです。
- ・ 環境学習について大人を取り込む事が大切だと感じました。大人と子どもが互いに刺激し、互いに学べる様な場作りが大切だと思います。
- ・ 今日あつまった人が、小さなグループをつくって、それぞれが動いて行くような、行動の進行の見通しを立てるとよいと思います。あと、教育者がこういう場に来るべきだと思います。
- ・ 一部しか参加できなかったが、大変いい場(琵琶湖を考える)だと思う。特に漁協の方を呼ばれたのは良いと思った。今後も一般でがんばっておられる方の意見をふまえて議論してほしい。
- ・ 漁師さんなどの現場の人の声をもっとききたい。
- ・ 時間が6時間と長く、もう少し整理して短くできないか。広く県民の参加してもらって観点から大津市での開催にこだわらない方がよいのではないかな？
- ・ 参加者が多く、琵琶湖環境に感心がある人々の熱意を感じました。今後も継続的に実施して、現実的な行動につながっていくことに期待します。AM、PMに分けて一日中開催というのは、長い印象です。できれば、3時間程度が妥当かと思います。あと著名人の講演などがあるとうれしいです。
- ・ びわ湖の汚染防止、浄化は喫緊の課題。なんと1日も早く浄化してほしい。
- ・ 今日の会議は聴きにきたのではない。パネラーの時間が長すぎる。皆様の意見をもっと聴け。フナ班は最後20分だけだった。(2件を紹介しただけ)パネラーの話を聞くだけだった。もっと参加者の意見を聞く場を設けること。